

第1回江南市行政改革推進委員会議事録

日 時 令和3年10月5日（火） 午後2時から午後3時30分

場 所 市役所 3階 第3委員会室

出席者 横山 幸司、伊藤 由香、宮道 末利子、今井 敦六、多和田 芳樹、水谷 昌弘、
伊藤 吉弘、掛布 まち子、東猴 史紘

傍聴者 なし

資 料 次第

資料1 江南市リノベーションビジョン行動計画の進捗状況

資料2 江南市リノベーションビジョン《見える行動計画》 令和2年度 進捗状況報告

資料3 実施判定シート・効果額算定シート 一覧表

1. 総務部長あいさつ

2. 江南市リノベーションビジョンの行動計画について

①進捗状況

・資料1及び2に基づき事務局から説明した。

②取組事項の効果算定

・資料3に基づき事務局から説明した。

●窓口業務の民間委託、支出審査業務の民間委託

委員 他の業務と包括的に委託したとしても費用対効果を得られず、受託業者も無いということであれば、中止とするしかないと考える。

委員 2つの課の業務を抱き合わせて委託することで、人数を半分にコストを抑えることはできないか。

事務局 業務内容が異なるため、それぞれの課に人を配置する必要がある。抱き合わせて人数を半分に減らせるという状態にはならない。

委員 ある総合病院では、事務システムを共通化し、内科、外科などの診療科を超えて一括して事務処理を委託しており、システムの操作マニュアルも整備して1人で事務処理をできるようにしていると聞いている。

市の事務もシステムを共通化してから委託するなど、効率的な方法について検討すると良い。

事務局 この取組事項については、当初より包括的に民間委託できないか検討してきたが、なかなか包括的に受託できる業者を見つけにくく、見つかったとしても高額になるため、現時点では費用対効果を得ることは難しい。ただし、全ての業務を職員だけで遂行し続けることには必ず限界が来るため、システムの共通化も含め、引き続き少しでも効率化が図れる方法を検討してきたと考えている。

委員 行政改革は単にコストの観点だけで判断するべきではない。自前でやる方が安くなるが、全ての業務を自前でやるには限界がある。アウトソーシングで

きる部分は、コストがかかるとしても検討していかなければならない。
最近の事例では、共通化した事務を隣接する自治体と共同で処理するという
広域的な発想も出てきている。事務の共同化を含めた新しいアウトソーシン
グのあり方について、引き続き検討していただきたい。

●予防接種の個別実施化（BCG）

- 委員 コスト増にはなるが、他の自治体では導入実績がある。個別実施化によっ
てかかりつけ医で接種やアフターケアを受けられるようになる、予防接種計画
の日程変更もスムーズになるなど、効果が得られるなら実施した方が良い。
- 委員 予防接種をこれまで集団でやっていた理由はあるのか。予防接種を保護者任
せにすると、接種漏れが心配だ。個別実施化したとしても、接種忘れ・漏れ
が防げるような仕組みは検討してほしい。
- 事務局 これまで集団接種でやっていた理由について、かつては子ども年齢検診と同
時に実施していたことが挙げられる。しかし、現在はBCGの接種時期が変
わっているため、年齢健診と集団接種は別々に実施している。

●公園の定期検査業務の民間委託

- 委員 各区が所有し、維持管理している公園について、区長等の負担となってい
ると聞く。各区所有の公園についても市の維持管理とし、一括して民間委託す
ることで、区長等の負担軽減ができないか検討してほしい。
- 委員 委託費用が非常に高額である。また、民間委託すると職員が公園の現状を把
握できなくなる恐れがある。職員が点検している現状を継続した方が良い。
- 委員 区長等が点検している公園もあるならば、公園の点検を専門業者でなく地元
区に委託し、代わりに区費の一部を市が負担するといった仕組みを検討して
みてはどうか。

●市民・協働ステーション運営業務の民間委託

- 委員 直営よりコスト増になるが、近隣市町では委託したことで民間にしかできな
いような支援を実施しており、江南市でもそうした活動を推進するため、費
用をかけてでも中間支援団体などに委託するのが良い。
- 委員 地方創生推進交付金の対象として採択されるよう、取り組んでいただきたい。
- 委員 市民・協働ステーションの運営業務のあり方については、これまで市民協働・
市民活動推進協議会において幾度も議論を重ねており、市が直接ではなく、
熱意ある団体に委託してみようという方向性になっていること、また、その
環境も整ってきているということを伝えておきたい。
- 委員 民間委託する場合は丸投げではなく、市の職員も一丸となって委託先のサポ
ートを実施していただきたい。
- 委員 この分野は公共私役割分担において、行政が直接やるべき分野ではなく、
中間支援団体にやってもらった方が良い。
元気なNPOだけを支援するのではなく、自治会や町内会といった地縁組織
も含め、幅広く支援していくような運営をしていただきたい。

●業務委託等の実施内容の見直し、効果の検証

- 委員 業務委託等について、監査における指摘事項はどのようなものがあるか。
- 事務局 例えば、業務委託が毎年随意契約で行われていないか等の視点から、その都度指摘がされ、指摘に対して常に改善をしている。
- 委員 監査からの指摘事項は、無駄や非効率な部分を精査するよう促すものであり、業務委託という手法を否定するものではないため、資料の表記には注意していただきたい。業務委託については、絶えず改善する方法を模索していく必要がある。

●土曜日の保育実施園の統合

- 委員 土曜日保育の統合にはメリットとデメリットがあり賛否を決め難いが、江南市はこれから保育園の統廃合を行っていく。駐車場問題など、今後の統廃合に関係する課題を検証することができるため、試行的に1つの地区から実施してはどうか。
- 委員 子ども・子育て会議で賛同が得られなかった、という事実は非常に重く、子どもや保育士にかかる負担など、マイナスの面は大きい。保育士の労働環境の改善というプラスの面もあるが、そこで生まれた余裕によって日曜保育を実施することは難しいということなので、メリットが見えにくい。
- 委員 送迎用の駐車場の借上げが1園あたり5台分必要とあるが、今現在でも駐車場の確保が上手くいっていない中で、統合を実施した場合に5台分の確保が可能なのか確認していただきたい。
- 委員 3年間の周知期間を設けたうえで統合するのは良いと考える。今は子どもの数が減少していて、幼稚園や認可外保育施設という選択肢もあり、また土日に仕事をしている保護者が増えている。そのため、土曜日保育は統合して、一方で休日保育を実施するなど、前向きな統合を目指していただきたい。
- 委員 保育士の労働環境についてですが、現在の労働環境は本当にぎりぎり、有給休暇の取得も困難となっており、こうした取り組みで、保育士の労働環境を改善させてほしい。
- 委員 今は就労していない潜在保育士も大勢いるので、短時間でも働ける場所を増やすなど、なるべく多くの方に働いていただけるような方法を併せて検討していただきたい。
- 委員 土曜日の保育実施園の統合という一面だけでなく、保育士の労働環境、保育園の統廃合を見据えた検証など、複合的に検討する必要がある。他自治体では、保育士の側から土曜日保育統合の案が出た事例もあると聞いた。子どものアレルギー対応などが危惧されているが、その自治体では対応できるという自信があつてのことだと思うので参考としていただきたい。

3. その他

- ・事務局より今後のスケジュールについて説明した。